

# 地震行動計画（タイムライン）

第3次長野県地震被害想定調査報告書 平成27年3月 長野県  
 山ノ内町 最大被害想定 長野盆地西縁断層帯地震 マグニチュード7.8 震度6強 人口13,680人

建物被害【棟数】	人的被害【人数】	避難所避難者数【人数】	断水人口【人数(%)】	汚水処理機能支障人口【人数(%)】	停電件数【軒(%)】	携帯電話停波基地局率【%(不通ランク)】	近隣市町村被害
液状化による建物全壊 0棟	死者 わずか	被災1日後 2	被災直後 3,290(26)	被災直後 3,720(27)	被災直後 1,990(23)	被災直後 3(-)	全壊家屋 死者
断層変位による建物全壊 0棟	重傷者 わずか(わずか)	被災2日後 53(10)	被災1日後 646(5)	被災1日後 820(6)	被災1日後 140(2)	被災1日後 3(-)	長野市 35,300 1,940
揺れによる建物全壊 わずか	自力脱出困難者 0(0)[0]	被災3日後 44	被災1週間後 170(1)	被災1週間後 100(1)	被災4日後 0(0)	被災4日後 0(-)	中野市 400 20
土砂災害による全壊 わずか		被災1週間後 20(10)	被災1か月後 わずか(0)	被災1か月後 50(0)	被災1週間後 0(0)	被災1週間後 0(-)	飯山市 1020 50
火災による焼失 0棟		被災1か月後 わずか(わずか)				不通ランク	木島平村 160 10
地震による全壊 わずか	( )内は要配慮者 [ ]内は観光客					A:非常につながりにくい B:つながりにくい C:ややつながりにくい -:普通	野沢温泉村 10 わずか
地震による半壊 20棟		( )内は要配慮者					栄村 わずか わずか

注) 1の位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある

時系列	山ノ内町	自主防災組織	住民のみなさん
平時	令和6年1月1日、最大震度7を観測する能登半島地震が発生しました。この大地震は警戒してない地域で発生したものです。いつどこで巨大地震が発生してもおかしくないと捉え「第3次長野県地震被害想定調査報告書」最大被害想定に基づき地震対策に取り組んでいきます。	地震発生時の行動を確認しておきます。 ・地震発生直後、自らとるべき行動の整理 ・連絡網の整備	非常食等の備蓄 非常食 一人1日3食3日分 飲料水 一人1日3リットル3日分 家具の固定・耐震化 非常用持ち出しの準備 伍長・班長さんを中心とした地震の際の行動を定めます。 (地震発生時には、伍長・班長さんを中心に見回りを実施)
	<b>長野盆地西縁断層帯地震発生（想定地震）</b> マグニチュード7.8 山ノ内町 最大震度6強		地震発生時の行動 ・地震の揺れから身を守る ・家具から離れ、安全な場所に逃げ込む ・揺れている間は無理にコンロなどの火を消さない ・大地震ではマイコンメーターにより自動的にガスが遮断される ・可能なら玄関のドアや外に通じる窓を開け、避難路を確保する ・家族の安否を確認する
2時間	地震直後 山ノ内町災害対策本部設置 被害情報の収集を開始します。	安否確認 余震に注意 最初に発生した大地震よりも規模の小さい地震が引き続いて発生することが多く、これを余震といいます。	伍長・班長さんにご近所さんで見回りを実施し安否を確認します。 ・家具等の下敷きになっている者はいないか？ →救助 ・閉じ込められていないか？ ・煙は上がっていないか？ →初期消火 ・ガスの臭いはしないか？
4時間	被害情報等 総務課総務係 0269-33-3111 メール somu@town.yamanouchi.lg.jp	自主防災組織 地震対策本部設置 本部長は、各組長さんへそれぞれの組員の安否の確認をお願いします。 本部長は、安否の結果を町へ報告します。	組長は、各伍長・班長さんへ見回りを依頼し組員の安否確認をお願いし、結果の報告を受けます。 組長は、結果を本部長へ報告します。
6時間	被害調査を開始します。 主要な避難所を開設します。（問0269-33-3111）	被害調査 組織内の見回りを実施します。 土砂災害・道路被害・家屋被害等を確認した場合は、町へ通報します。	ライフラインを確認します。 ・停電？ 水道？ ガス？
翌日	受援体制の整備（広域応援に備え長野県と調整します）	避難所開設 可能であれば建物の安全性を確認し開設します。 避難者・被災翌日：避難者はわずか ・被災2日後：避難者やや増加 ・被災3日後：食料の枯渇等により避難者が激増	避難所へ避難する場合の注意点 ・開設の状況を確認します。 ・非常食、寝具、飲み薬等身の回りのものを持参します。